

# 岡山県営住宅長寿命化計画の概要

～計画期間：平成29年度から平成38年度までの10年～

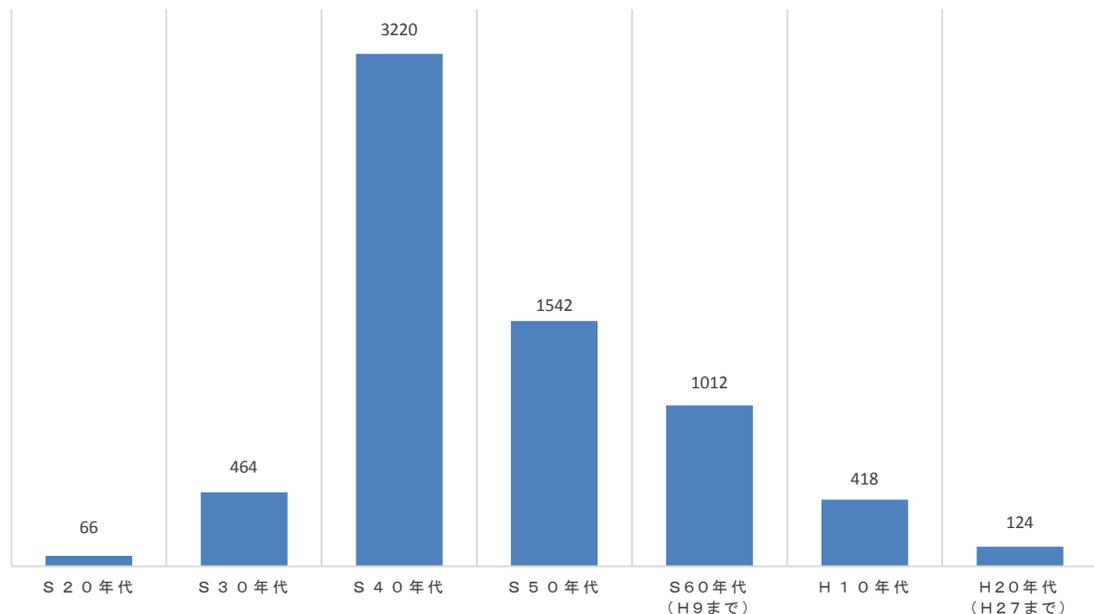
## 1 長寿命化計画の目的

本県では、昭和40年代から昭和50年代半ばを中心に大量の県営住宅を建設しており、それらの中には耐用年限に達するものや躯体の損傷の著しいものも多く、今後、計画的な改修等を実施していくことが求められている。



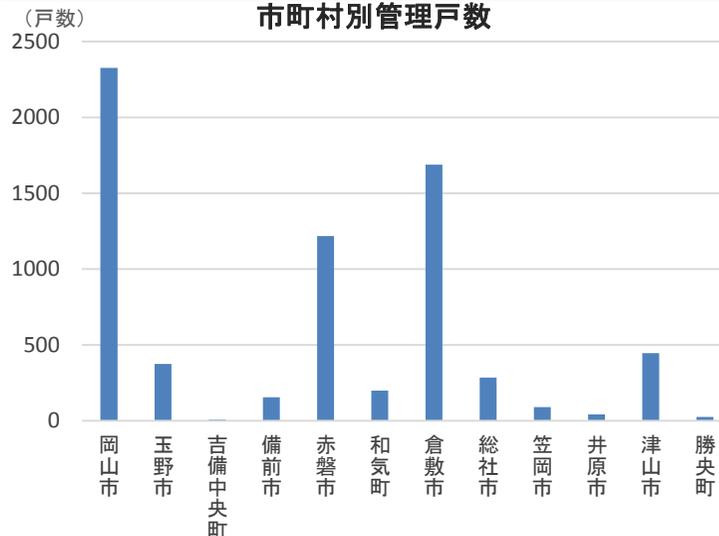
近年の厳しい財政状況の中、長寿命化による予防保全的な管理や改善を計画的に推進し、ライフサイクルコストの縮減と平準化を目指す。

### 建設年度別建設戸数

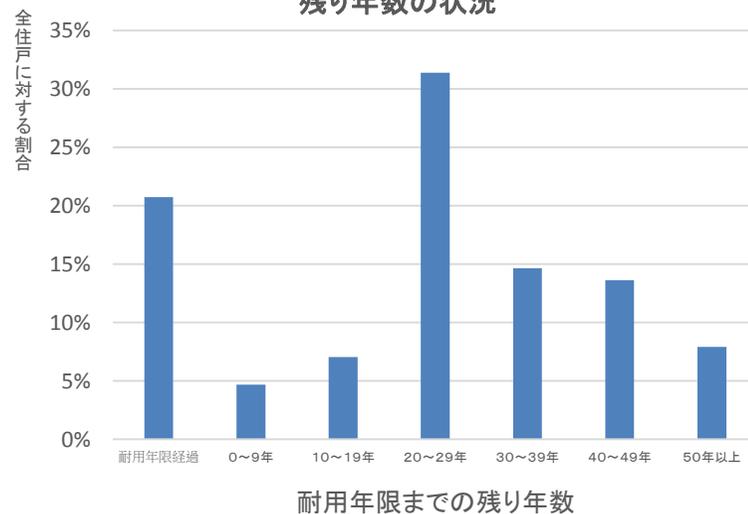


## 2 県営住宅の管理状況 (平成29年4月1日時点)

### 市町村別管理戸数



### 県営住宅の耐用年限までの残り年数の状況



### 3 長寿命化に関する基本方針

#### ストックの状況把握等に関する方針

定期点検及び日常点検を実施するとともに、改修工事履歴をデータ管理することにより、ストックの状況把握を行う。

#### 長寿命化及びライフサイクルコスト縮減に関する方針

ストックの状況把握等を行い、適切な時期に効果的な改善事業を実施することで、長寿命化を図る。  
また、改善事業の実施にあたっては、ライフサイクルコストの縮減と平準化を図る。

### 4 長寿命化のための改善事業内容(例)

改善事業の内容	居住性向上型	○電気容量が不足している住棟に対し、電気容量の増加を図る。 ○公共下水道が供用開始された団地について、早期に下水道接続する。
	福祉対応型	○手摺り設置等により、バリアフリー化を進める。
	安全性確保型	○スチール製の手摺りを耐久性の高いアルミ製のものに取り替える。 ○防犯性の高い玄関錠に取り替える。 ○エレベータに地震時管制運転装置を取り付ける。
	長寿命化型	○耐久性向上、躯体の劣化軽減、維持管理の容易性向上のため、外壁改修・塗装、防水改修を行う。